



石田 としかか

PROFILE

大阪生まれ・大阪育ち

ロンドンの留学経験があるので、英語での会話も可能です。

1965年 大阪府堺市出身。高石市立取石小学校・中学校を卒業
私立清風高等学校 卒業
神戸大学 経営学部 卒業
法政大学大学院 社会科学部 政治学専攻 政治学修士
ロンドン大学政治経済研究所 (LSE) 修士課程終了 政治学修士

金融・会計・ITの知識が豊富です。

元銀行マン、コンサルタントとしての経験あり。英国で専門的に政治を学んだので、今後の政策作りに活かします。

1989年 株式会社日本長期信用銀行 入行
1998年 デロイトトーマツコンサルティング株式会社 入社
1999年 衆議院選挙に大阪府第19区から立候補
2001年 衆議院議員 政策担当秘書
2002年 渡米。政府インターナショナル・ビジネスマン・プログラム
2002年 ロンドン大学政治経済研究所 (LSE) 修士課程 入学
2003年 同校修士課程 比較政治コース 終了
以降 衆議院・参議院議員の政策担当秘書

保育士としての資格も取得。

全国的に課題となっている「保育の充実化」をはかるために起業を検討した時期もありました。

1989年 社団法人日本証券アナリスト協会検定会員
1998年 米国公認会計士取得
1999年 国会議員政策担当秘書資格取得
2001年 保育士資格取得



WEBはこちら

大阪のため、日本のために、 今、これから何ができるか。

石田としかかです。私が政治に目覚めたのは金融危機でした。私はその時「日本の政治家は、なんと経済や金融を知らないのだろうか」と思いました。その後、民主党の候補者公募に応募し、衆議院選挙に出たのち、国会議員の政策担当秘書として約22年間働いてきました。この約20年間、日本の実質賃金は下がり続け、少子化が進行し、新エネルギーや半導体分野での地位も下がり、国内から海外へと仕事の発注が移転し、国の借金は膨大なものに膨れ上がりました。さらに現在、ロシアによるウクライナへの侵攻と、円安による物価高、新型コロナによる被害、そして大阪特有のIR・カジノの問題…。このような状況に黙ってられず、大阪を元気で安全に暮らせる街にするために今回立ち上がりました。厳しい状況であることは十分理解しています。どうか、皆さんも一緒になってこのチャレンジに参加してください。



改革、その先へ。

未来は変えられる。

石田

としかか

立憲民主党
The Constitutional Democratic Party of Japan

WEB

<https://ishidatoshitaka.com/>

大阪のため、日本のために、
今、これから何ができるか。

5つの実現したいこと。

みなさんと一緒になって実現していきたい5チャレンジ。これまでの現場経験を交えながら具体的に活動を実行していきます。

#01



石田が考える、大阪の「観光振興策」
古き良きものを残し、魅せる

なんでも新しいものに置き換わる、この現代社会だからこそ、人々は「古き良きもの」に惹かれます。古い建築・街並み・文化・芸能を守り、復活させる。新しい側面から光を当てることによって魅力を引き出す。地元から、商店街から、大阪のまちを活性化させます。

#04



人口減少社会に真正面から立ち向かう
子育てを徹底的にサポート

日本では2008年をピークに総人口が減少に転じ、人口減少時代を迎えています。働きながら子育てをする親を全力で支援していく体制づくりを進め、学費の軽減や少人数による公教育の質の向上など、子育てへの不安を解消し、子どもの声の聞こえる国を目指します。

#02



大型リゾートではない新しい開発を。
夢洲（ゆめしま）の活用法を再提案

夢洲は統合型リゾート（IR）・カジノよりも、国際的に評価の高い流通基地として活用し、大阪は「アジアの首都」を目指す。大型リゾート開発は、過去の例を見ても失敗・破綻が相次いでいます。コロナによって状況が一変する中で、本来計画していた収益が見込めず、将来に負担を残す可能性が高いIR・カジノ計画は、やはり改めて見直すべきです。

#05



ビジョンに掲げる「改革、その先へ」
アップデート日本の政治

選挙で選ばれた議員が物事を決める「代表制民主主義」は、党利党略によって良い政策がとられない恐れがあります。憲法や社会保障など、国民的・長期的な課題は、抽選で選ばれた市民や専門家、議員で議論する「抽選制民主主義」を一部導入するのはいかがでしょうか。また、インターネット投票などの導入によって、民主主義のアップデートができればと考えます。

#03



賃金の上がる国にしたい。
働く人を大切にする法律・制度へ

先進国の中で唯一日本だけが、この20年間で賃金が伸びなかった。その理由は、労働者を取り巻く法律が緩和されてきたからです。法改正によって非正規雇用が増え、制度によって海外からの低賃金で働く労働者をたくさん連れてくるという現状。コロナで海外から来る人が減少している今こそ、国内労働を立て直し、賃金の上がる国に変えましょう。

聞かせてください
#「こうしたい」というあなたの声を

WEBは
こちら



無関心で諦めて放っておいたら
また誰かが都合のいいように
勝手に方針を決めてしまう…

一緒に未来を作っていくために、
単なる批判だけではなく、
「こんな未来はどう思う？」など

あなたのお声を、ぜひ聞かせてください!!